

デジタイくん

NO. 797 いまいずみひろみ

終電逃した!



UR、地方の保有物件を民間に売却

平成29年度は20団地5605戸を放出

	売却戸数	エリア
平成27年度	13団地1470戸	北海道3、関東3、近畿4、中国1、九州2
平成28年度	14団地1104戸	北海道3、関東2、中部1、近畿2、中国1、四国1、九州4
平成29年度	20団地5605戸	北海道1、東北4、関東6、北陸1、中部7、近畿1

	都内高級賃貸の民間運営委託
平成27年度	3団地1523戸
平成28年度	6団地2644戸
平成29年度	10団地2896戸

独立行政法人都市再生機構(以下、UR・神奈川県横浜市)は、地方部の一部保有物件を民間へ売却していることを4月24日、本紙の取材で明らかにした。

平成29年度には、20団地5605戸を売却。直近の3年間で8179戸を放出した。URの担当者は「団地の再編成を行っている。UR・神奈川・大阪・名古屋・福岡の4支社から離れ、管理を他社に委託している団地について一部で売却を進めている」と話した。平成30年度分についても1000戸程度の規模の民間への放出になりそうだ。

URは全国に1618

1戸から契約可能な孤独死保険

見守りサービス加入が条件



アイアル少額短期保険
短期保険
中央区長(51)

開始する。
見守りサービスへの加入を条件に1戸から契約が可能になる。見守りサービスは、2日に1回の電話で自動音声の安否確認を行う。3日以上不通が続くと、有人対応でコールセンターから電話が入り、必要に応じてあらかじめ設定しておいた親族と不動産管理会社に連絡が入る仕組み

見守りサービスは、2日に1回の電話で自動音声の安否確認を行う。3日以上不通が続くと、有人対応でコールセンターから電話が入り、必要に応じてあらかじめ設定しておいた親族と不動産管理会社に連絡が入る仕組み

団地、73万7320戸を運用しており、43団地9898戸については他社に管理を任せている(ともに平成28年度末の数値)。この団地については、入札で民間に譲渡される可能性が高い。

URの保有する団地の多くは保有を継続し、リノベーションや建て替えにより、入居率を上げ、若いファミリー世帯を呼び込む取り組みに注力をしていく。一方で、運用コストが高いケースや、同機構で運営することへの社会的な意義が少なくなっている場合には民間に移行する。



パルマ
(東京都千代田区)
高野茂久社長(55)

自動電話かけシステム開発 SMSとの併用も可能

パルマは、東京都千代田区に本社を置く。同社では、不動産会社向けに自動電話かけシステム「P-Carrier(ピーコール)」の開発を開始した。同サービスの管理URLにログインし、電話かけをするリストを登録・発信することで1時間あたり500件超の電話かけを自動で行うことができる(電話が4割つながったときを想定)。

不動産会社がグループ内で家賃債務保証事業を行うケースが増えてきていることから、管理会社向けに提供していく。

事前登録したアナウンスの内容を機械が読み込み、電話がかかる自動音声の流れが仕組み。電話を受けた側はアナウンスの内容に応じて番号を押していく。電話かけの結果は、一覧で分かるようになっている。

東京都内の高級賃貸住宅についても、民間に運営を任せていき、保有案件については条件が合えば投資家に譲渡する。この3年間で19団地7063戸の管理を民間に切り替えた。

同社では、東京都千代田区に本社を置く。同社では、不動産会社向けに自動電話かけシステム「P-Carrier(ピーコール)」の開発を開始した。同サービスの管理URLにログインし、電話かけをするリストを登録・発信することで1時間あたり500件超の電話かけを自動で行うことができる(電話が4割つながったときを想定)。

不動産会社がグループ内で家賃債務保証事業を行うケースが増えてきていることから、管理会社向けに提供していく。

事前登録したアナウンスの内容を機械が読み込み、電話がかかる自動音声の流れが仕組み。電話を受けた側はアナウンスの内容に応じて番号を押していく。電話かけの結果は、一覧で分かるようになっている。

ゲート式駐車場も予約可能に

スマホで出入庫しオンライン決済



akippa
駐車場の空きスペースと利用者のマッチングサービスを展開するakippa(アキッパ・東京)

akippa(アキッパ)を通じて、ゲート式駐車場の事前予約・オンライン決済を可能にした。

従来は入口で駐車チケットを受け取って入庫し入庫できる。専用端末と利用者のスマホは無線通信技術のBluetooth(ブルートゥース)で接続。アプリをインストールして、

同社では、東京都千代田区に本社を置く。同社では、不動産会社向けに自動電話かけシステム「P-Carrier(ピーコール)」の開発を開始した。同サービスの管理URLにログインし、電話かけをするリストを登録・発信することで1時間あたり500件超の電話かけを自動で行うことができる(電話が4割つながったときを想定)。

不動産会社がグループ内で家賃債務保証事業を行うケースが増えてきていることから、管理会社向けに提供していく。

事前登録したアナウンスの内容を機械が読み込み、電話がかかる自動音声の流れが仕組み。電話を受けた側はアナウンスの内容に応じて番号を押していく。電話かけの結果は、一覧で分かるようになっている。